

## 臨床研究「Basket-weave 法による口輪筋再建の長期経過に関する検討」について

筑波大学附属病院形成外科では、標題の臨床研究を実施しております。

本研究の概要は以下のとおりです。

### ① 研究の目的

初回口唇裂形成術において、口輪筋の再建は重要である。当院では Basket-weave 法 (Sagle, 2004) という口輪筋を交差させて患側人中稜を挟んで牽引し、人中稜の隆起を強調させる口輪筋再建法を施行している。短期経過では人中稜の良好な形態が維持されていたが、長期経過に関しては報告がない。本研究では長期経過に関して調査し、評価したいと考えている。

#### 研究対象者

2003 年 4 月 1 日から 2005 年 3 月 31 日の期間に当科で初回口唇裂形成術を施行した患者さん。

### ② 研究期間：倫理審査委員会承認後～2022 年 6 月 31 日まで

### ③ 研究の方法

カルテ等の診療記録の調査、および科内で管理しているデータベースの利用等により、対象症例のデータを抽出し解析する。評価項目は人中稜形態、裂型、評価時年齢、術後経過期間などである。

### ④ 試料・情報の項目（具体的に記載すること）

診療記録の中の、人中稜形態、裂型、評価時年齢、術後経過期間など。

### ⑤ 試料・情報の第三者への提供について（該当する場合は記載）

特になし。

### ⑥ 試料・情報の管理について責任を有する者

佐々木正浩、筑波大学附属病院形成外科、病院講師

### ⑧ 研究により得られた結果の取扱い

結果の説明は行いません。

研究対象者等の健康状態等を評価するような情報が得られることはありません。

### ⑦ 本研究への参加を希望されない場合

患者さんやご家族（ご遺族）が本研究への参加を希望されず、試料・情報の利用又は提供の停止を希望される場合は、下記の問い合わせ先へご連絡ください。すでに研究結果が公表されている場合など、ご希望に添えない場合もございます。

### ⑩ 問い合わせ連絡先

筑波大学附属病院：〒305-8576 茨城県つくば市天久保 2-1-1

所属・担当者名：形成外科 佐々木正浩

電話：029-853-3122（平日 9 時～17 時）、FAX：029-853-3122

E-mail：sasaki.masahiro.dw@ms.hosp.tsukuba.ac.jp